

単位認定インターンシップに行ってきました (File.3)

(授業科目名：世界教養プログラム／就業体験)

派遣先企業・機関名：アフラック生命保険株式会社

配属部署：人事部採用課

研修期間：2019年8月26日～2019年9月13日（15日間）

言語文化学部言語文化学科朝鮮語/東アジア地域 2年 笠原与紫乃



* アフラック生命保険とは

- ・「生きる」を創るリーディングカンパニー。
- ・死亡してから保障をするのではなく、生きるために病と闘っている人へ経済的支援を行う、第三分野の保険を主な商品とする。
- ・日本で初めてがん保険を提供し、がん保険・医療保険の保有契約件数No.1。
- ・以前はアメリカの会社の日本支店という形態をとっていたが、2018年に日本法人化された。

<https://www.aflac.co.jp/>

■参加した理由

参加した理由は大きく分けて3つ。

- ①2年生になって、ゼミの選択や派遣留学に行くかどうかを決断するにあたり、働くイメージを得て、将来を考える手がかりとしたかった。
- ②せっかくの長い夏休みを、バイトだけに費やして無駄にしたくなかった。
- ③自分の短所である消極的な性格を克服するために、受からなくても良いからとりあえず応募だけでも行動してみようと思った。

「働く」を知る、「自分」を知る
就活じゃないインターンシップ

■インターンシップの内容

2022年新卒者を対象とするインターンシップの企画を担当しました。

- 〈1週目〉インターンシップや学生に関する情報収集
 - ・アンケートを作成し、LINEにてサークルや友達に配布
- 〈2週目〉アンケートの集計と企画書の下書き
 - ・エクセルを使いアンケートを集計し、企画書用にグラフを作成
 - ・パワーポイントを使って企画書を作成
- 〈3週目〉企画書の形を整え、最終発表



企画書作成中

■記憶に残るエピソード

- ・ランチの時間が一番記憶に残っています。何度か人事部の方々に混じってお昼ご飯を食べに行ったのですが、皆さんがとても仲良しなのが印象に残りました。年齢に関係なく、お互いに言いたいことが言いやすい関係が素敵だと思いました。
- ・ランチミーティングも印象的でした。内容は私にとってとても難しかったのですが、社員の皆さんは積極的で、限られた時間に考えをまとめたり、相手の意見にすぐ反応したりしていて驚きました。大学では自分から積極的に発表する人は限られていますが、そのミーティングでは全員が積極的な姿勢だったので記憶に残っています。

■自分の気づき、学んだこと、これからどう活かす

〈自分の気づき〉

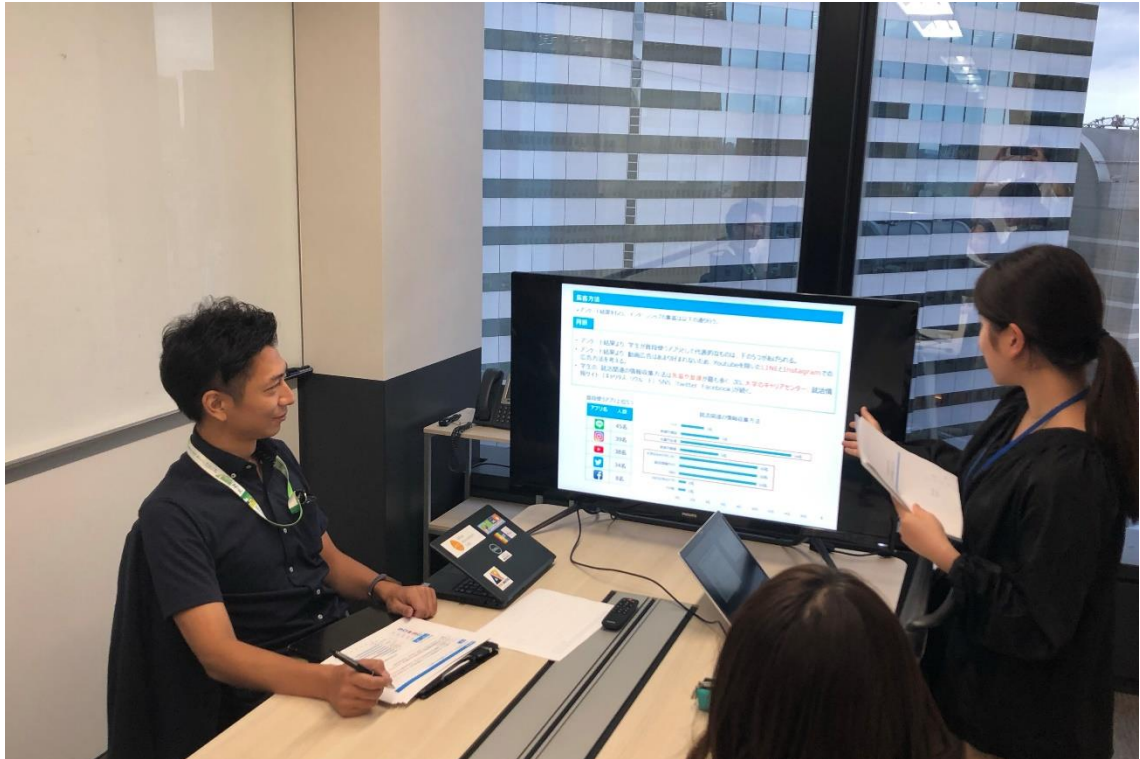
- ・客観的な評価をもらうことで、自己評価では見つけにくい自分の長所を知ることができました。
- ・インターンシップの参加前後で振り返りをするすることで、自分について考える機会が増え、自分の短所の原因を考えることができました。

〈学んだこと〉

- ・大学で学んだことが直接仕事に生かせなくても良いということ。
- ・仕事はチーム作業であり、そのためにはコミュニケーション能力が重要なこと。
- ・何かを行うときは、手段にとらわれず、その目的を見失わないことが大切であること。

〈どう活かすか〉

- ・自分についての理解が深まり、理想像とのギャップが分かったので、理想に近づけるよう行動を変えていきたい。
- ・仕事に活かせるかではなく、自分が今何に興味を持っていて、熱中して勉強できるのかを考えて、ゼミや留学に行くかどうかを決めたい。



■学生への呼びかけ（参加して良かったこと）

参加して良かったことはたくさんあります。

- ・自分でインターンシップに応募する場合、1日のプログラムが大多数であるし、有名企業の場合、選考が厳しくインターンシップに参加したくてもできないこともあります。仕事内容がインターンシップ生向けに作られたものであっても、実際のオフィスで働ける経験は貴重だと思います。
- ・アフラックについて理解が深まり、自分の中で1つの基準となることで、これから就職先を考える上でも役立つと思います。また、自分について考える良いきっかけとなると思います。
- ・自分で単位認定インターンシップの存在を見つけ、学内選考を受け、最低でも2週間もあるインターンシップをやりきったという事実が自分の自信につながります。
- ・就活よりも社会経験に重点を置いたインターンシップなので、就活への知識や将来の方向性、進路が決まっていなくても参加しやすいです。
- ・学内での書類提出や面接も練習になります。だから、まずは応募してみるだけでも、自分のためになると思います。

■感謝のことは

3週間という長いようで短い間でしたが、実際のオフィスで社員の皆さんと混じって仕事をするという貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

インターンシップに参加するのが初めてであった上、参加学生が1人だったので、緊張や不安は大きかったです。皆さんが温かく迎えてくださったおかげでリラックスできました。また、私の意見をよく聞いてくださり、些細な疑問にも真剣に答えてくださったので安心して企画に取り組みました。お昼ご飯を一緒に食べに行くのもとても楽しかったです。

たくさんお世話になり、本当にありがとうございました。



成果発表

